



**(株)セブン&アイ・ホールディングス**

グループ会社

(株)そごう・西武、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨークベニマル、(株)ヨークマート、  
(株)赤ちゃん本舗、(株)ロフト、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行、  
(株)セブン・カードサービス、(株)セブン&アイ・ネットメディア、(株)ニッセンホールディングス、ほか

**株式会社 そごう・西武**

〈お問い合わせ先〉

CSR・CSV推進室

郵便番号 102-0084 東京都千代田区二番町5番地25

二番町センタービル

電話番号 03-6272-7409 FAX 03-6272-7349



(株)そごう・西武のCSR活動  
<http://www.sogo-seibu.co.jp/csr.html>



本冊子は、見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォント、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷、VOC(揮発性有機化合物)ゼロの植物油インキ、FSC®認証紙を採用しています。制作時に排出したCO<sub>2</sub> 5,887kgは、カーボンフリーコンサルティングを通じてオフセット(相殺)されます。

お願い 本冊子をご不要になった際は、再資源化のため、お住まいの地域のルールでリサイクルいただくようお願いいたします。

2017年10月発行



Environmental  
and social  
contribution  
initiatives  
2017-2018

# 地域の活力になる— そんな百貨店でいたいから



## 行政や地元企業の 皆さまと一緒に “福井の魅力”を発信!

自然が豊かで、歴史文化が多く、県民の皆さまの幸福度が日本一高く、人もいい—そんな“福井の魅力”を発信するために、西武福井店では行政や地元企業の皆さまと連携して地域活性化に注力しています。たとえば、店舗施設を利用して行政と社会貢献イベントを共同開催したり、地元団体・企業の皆さまとさまざまな販促イベントや商品開発に取り組んだり…。そうした活動を地元の新聞やテレビ・ラジオを通じて発信していただくことで、街ぐるみで地域の魅力を高めています。地域の活性化や次世代の育成、少子高齢化対策につながるこうした活動を通じて、今後も地域一体となって賑わいのある街づくりに取り組んでいきます。



- ① 福井商業高校チアリーダー「JETS」による屋上でのデモンストレーション
- ② 福井県主催のフードフェア。会場内には地元70社から逸品が勢ぞろい
- ③ 福井の地場産業のメガネ材料で作られたアクセサリーをいち早くご紹介
- ④ 地元の園児たちを招いての「グリーンカーテン」づくりを福井市と共同開催



福井県酒造組合の後援で開催した日本酒「ひやおろし」試飲販売会。県内19蔵元の30種類が一堂に集結

特集

地域の活力になる—  
そんな百貨店でいたいから  
全国各地でさまざまな活動  
実施しています。

→ シニア世代の方たちに



仮設住宅で暮らす高齢の女性たちによる  
手作りの衣料品や小物を販売

→ 女性の皆さまに



豊島区と協働して働く女性のための  
各種イベントを開催

→ 子どもたちに



お母さまたちの可能性を拓く  
「お仕事体験」を実施

→ NPOと



食に困窮する児童に向けた支援活動  
「フードバンク」に協力

地域の方々にとって百貨店が  
必要不可欠な存在であり続  
けるために—西武・そごうは、全  
国の店舗で地域のさまざまなステ  
ークホルダーがつながる場をご提供し  
ています。



SEIBU  
SOGO



→ 学校と



大学生による子ども向け夏休みイベント  
「キッズアカデミー」を共催

→ 企業と



地元企業とコラボした  
オリジナル商品を販売

→ 障がいのある方々と



障がいのある方々と有名パティシエが  
コラボしたお菓子を宣伝販売

→ 行政と



警察の仕事を知る体験型イベント  
「警察ふれあいフェスタ」に協力

# 1 高齢化・人口減少への対応で



社会インフラとして、すべての人が安心して便利にお買い物できる社会を実現します。

# 2 商品や店舗を通じた安全・安心を



商品や店舗を通して、安全・安心をご提供します。

# 3 省エネ・省資源を追求して



商品、原材料、エネルギーの無駄を省き、地球環境の保全に貢献します。

地域のチカラになるために

サステイナブルな百貨店に向けた

# 5つの取り組み

西武・そごうは、「サステイナブルな百貨店」を目指し、セブン&アイグループで推進している「5つの重点課題」の解決に取り組んでいます。

# 4 女性・若者・高齢者の活躍支援で



性別・年齢にかかわらず、すべての人が活躍できる社会づくりを支援します。

# 5 ともに取り組むエシカル社会



公益財団法人 ジョイセフ

お客さまやお取引先とともにエシカルな社会づくりに取り組みます。

## SDGsへの取り組み

西武・そごうは、2015年に「国連持続可能な開発サミット」で国際社会の共通目標として掲げられた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」の達成に向け、さらに取り組みを強化してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標





取り組み

1

## 高齢化・人口減少への対応

少子高齢化が進むなか、誰もが安心して生活できる社会を目指し、さまざまなサービスを展開しています。

### ➡ 全店舗で認知症サポーターの養成を推進

高齢化社会が進むなか、認知症のお客さまやご家族の方にも安心してお買い物を楽しんでいただけるよう、全店舗で認知症サポーター養成講座を開催しています。これは認知症に関する知識を学び、接客時などに適切な対応を取れるようにするもので、2017年8月末現在、西武・そごう所属のサポーターは約4,100名にのぼります。



目標は、社員全員の資格取得

### ➡ 初めてのママを応援「プレママステーション」



出産・育児を応援する「プレママステーション」

初めての出産・育児を応援する「プレママステーション」。「何を準備したらいいのかわからない」「育児について周りに相談できる人がいない」、そんな初めてのママならではの不安や悩みに常駐の助産師がお応えいたします。また、親子で楽しめるイベントも開催しています。



取り組み

2

## 商品や店舗を通じた安全・安心

人と環境にやさしい商品や万が一の時にもご安心いただける店舗づくりを行っています。

### ➡ 持続可能な天然水産物「アラスカシーフード」を販売

養殖を禁止し、漁法や漁獲量の管理を厳格に行うことで、豊かな自然や生き物たちを守り、未来につなげていくことを目的としたアラスカの水産業。西武・そごうでは、定期的に「アラスカシーフードフェア」を開催。実演販売や親子向け料理教室などを通じて、100年後も継続できる漁業に貢献しています。



料理研究家が美味しい食べ方をご紹介します

### ➡ 大規模災害への備え「防災訓練」



防災訓練の様子

日々、多くのお客さまにご来店いただいている百貨店は、安心できる店内環境の維持と安全対策が重要です。特に、大規模災害時には、速やかな避難誘導をはじめ、帰宅困難者への対応も必要となります。西武・そごうでは、地域とも連携し、すべての従業員が「災害からお客さまと自分を必ず守る」という強い思いのもと、定期的な訓練に励んでいます。



取り組み

3

## 省エネ・省資源の追求

お客さまや地域の皆さまとともに、商品やイベントを通じて地球環境の保全を推進しています。

### ➡ 環境方針

#### 基本理念

私たちは、企業市民として社会的責任を自覚し、環境・社会・経済が一体となった事業活動を通じ、お客さまやお取引先、地域とともに、「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組みます。

#### 行動指針

1. 私たち自身の環境保全活動に加え、当社の事業活動を通じて、お客さまやお取引先の活動にも良い環境影響を及ぼすように努めます。
2. ①環境に配慮した品ぞろえやイベント、セミナーなどを通じたお客さまとのコミュニケーション強化  
②社会貢献活動などを通じた地域、社会とのコミュニケーション強化  
③地球温暖化防止対策や廃棄物の削減、リサイクルの推進などによる環境負荷の低減と環境保全の推進  
④環境教育の継続による法令順守とリスクマネジメントの徹底  
以上の活動を重点に、仕組みや手法の継続的な改善に取り組みます。
3. 従業員に対する継続的な教育と啓発活動を行い、一人ひとりが環境や社会問題に自発的に取り組むことにより、お客さまや地域社会に役立ち、信頼される企業を目指します。
4. 挑戦的な目標を設定し、一人ひとりが達成に向けた活動を実践しながら、結果の検証と改善を繰り返し、システムの向上を心がけます。

この環境方針は、従業員と当社のために働く全ての人に周知するとともに、一般の方々にも公開します。

2016年10月6日  
株式会社そごう・西武  
代表取締役社長 林 拓二

### ➡ ISO 14001に基づき環境マネジメントを推進

(株)そごう・西武は、1999年に西武全店で百貨店業として初めて環境に関する国際規格ISO 14001の認証を取得しました。その後、2011年にはそごう全店に拡大し、現在は西武・そごう全店および全事業所で認証を取得しています。2016年2月にはISO 14001/2015年版への移行を完了したほか、各店・各事業所で環境・社会貢献委員会を組織。社長が宣言した環境方針の達成に向け「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組んでいます。



ISO14001 認定証

### ➡ 地球のために“賢い選択”「クールチョイス」を展開

CO<sub>2</sub>を削減し、地球のために“賢い選択”を促す国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」。

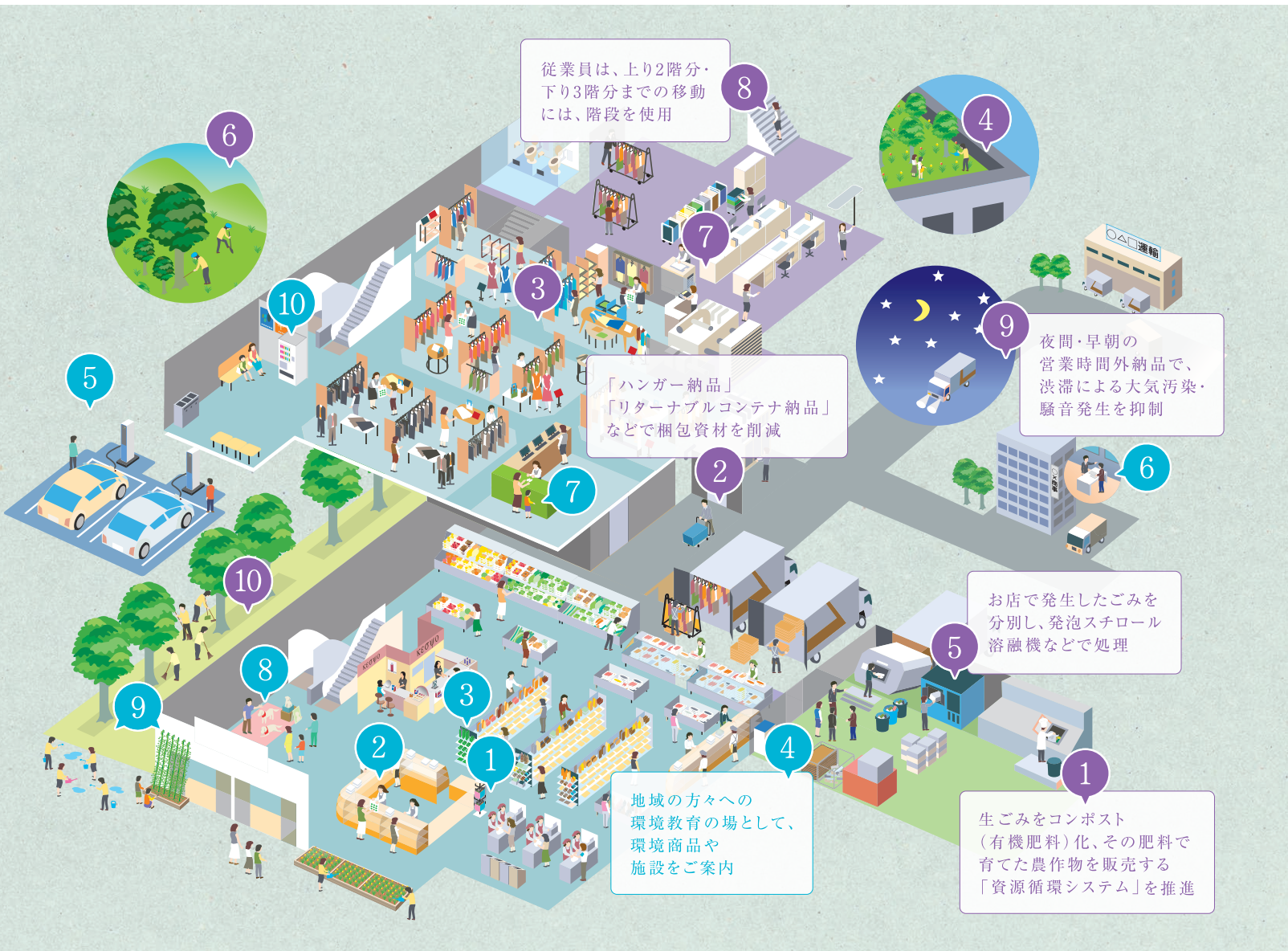
西武・そごうでは、食品レジ袋などにロゴマークを印字し、「マイバッグ持参でレジ袋削減」を呼びかけることで、CO<sub>2</sub>を削減する地球にやさしいライフスタイルをご提案しています。また、環境省「COOL CHOICE推進チーム」にも参画。お客さまや行政機関などとともに商品やイベントを通じ、「低炭素なライフスタイルの選択」をご提案しています。



食品レジ袋に印字したロゴマーク



「COOL CHOICE推進チーム」の様子



### お客さまとの取り組み

- ① オリジナルエコバッグの製作・販売
- ② グリーンラッピング（環境配慮包装）
- ③ 環境配慮商品の販売
- ④ 店内エコ見学会
- ⑤ 電気自動車用充電器設置（駐車場）
- ⑥ 環境に配慮したユニフォームや防災用品の提案
- ⑦ 常設「こども靴下取りコーナー」（国際貢献）
- ⑧ 盲導犬育成支援（募金箱・理解促進イベント）
- ⑨ 打ち水やグリーンカーテンのイベント開催
- ⑩ 途上国支援寄付金付き飲料自動販売機

### 従業員による取り組み

- ① コンポスト機による生ごみの肥料化
- ② 納品時の梱包資材削減
- ③ LED照明の導入
- ④ 屋上緑化と壁面緑化
- ⑤ エコステーション（ごみの分別とリサイクル）
- ⑥ グループ挙げての森林整備と間伐材の活用（名刺・リサイクルボックス等）
- ⑦ 再生資源の活用（コピー用紙、包装紙、制服等）
- ⑧ 階段の2up3down
- ⑨ 営業時間外を利用した効率的な納品
- ⑩ 定期的に店舗周辺の地域清掃を実施



取り組み

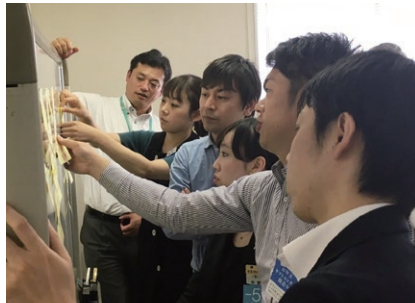
4

## 女性・若者・高齢者の活躍支援

育児と仕事の両立や、働きやすくやりがいのある仕事を通じて、女性や若者や高齢者の活躍を応援しています。

### これからの百貨店を考えるために「ワイガヤ」で意見交換

従来の発想の枠にとらわれず、よりお客さまの期待に応えられる百貨店の姿や、より働きやすい職場環境を考えるために、セブン-イレブン・ジャパンのメンバーとともに、「クロスファンクションプロジェクト」がスタート。各店の若手・女性社員を中心としたメンバーで「ワイガヤ※」を行い、新しい視点を業務に生かす動きが始まっています。



※私”視点の意見を貼り出し、フラットに意見交換

※立場や領域を超えて、異なる価値観を持つメンバーで話し合うこと

### 多様な働き方を通じて、「出産・育児・介護」を支援



「出産・育児支援  
ハンドブック」



妊娠中の勤務や出産後の復職などの各種支援制度をまとめたハンドブックを作成しているほか、育児休職中の従業員には先輩ママとの座談会や復職に向けたオリエンテーションを開催。2014年には「くるみんマーク」、2016年には「なでしこ銘柄」を取得しています。また、看護や介護に関する支援制度の活用もサポートするなど多様な働き方を推進しています。



取り組み

5

## ともに取り組むエシカル社会

「みんなのやさしさ、つなぎたい。」というメッセージのもと3つの社会貢献に取り組んでいます。

### 植樹・育樹活動

CLOSE-UP

2009年9月から  
2017年8月までに

11,241本の

植樹につながりました

お客さまのアクションが森林再生と地域振興につながる仕組みをご提供しています。

プレゼントギフトをご注文いただく際、リーフマスコット付きリボンを100円(税込)でご購入いただくと、1件につき50円の寄付ができ、80件で1本の植樹につながる「グリーンラッピング」。これは“森づくりが必要な土地に樹を植え、森林再生と地域振興につなげる”プロジェクトのことで、西武・そごうは、お客さま参加型の植樹・育樹活動を推進しています。

2017年5月には、社員ボランティアが山梨県笛吹市での植樹活動に参加し、お客さまのやさしさがこもった苗木を一本一本丁寧に植えました。マツクイムシ被害の森を、多くの野鳥が棲める豊かな森へ戻していきます。



地球環境を想うラッピング「グリーンラッピング」。お中元やお歳暮ギフトの簡易包装(4,000件で1本)や食品フロアでのレジ袋ご辞退(1万枚で1本)でも実施しています。





## 途上国支援活動

CLOSE-UP

2009年9月から  
2017年8月までに

71万6,294足の

靴をお客さまから  
お預かりしました

お客さまからお預かりしたこども靴を  
ザンビアのこどもたちに送る活動を推進しています。



公益財団法人 ジョイセフ

西武・そごうは、公益財団法人ジョイセフが推進している「途上国の妊産婦の命と健康を守る『ホワイトリボン運動』」に賛同しています。その一環として、全店に「こども靴下取りコーナー」を常設し、使わなくなったこども靴1点につき、こども服売場での買い上げ価格5,000円(税込)ごとに1枚ご使用いただける「500円割引券」とお引き換えしています。お客さまからお預かりしたこども靴は、公益財団法人ジョイセフを通じて、アフリカ「ザンビア共和国」のこどもたちに届けられ、こどもの足を寄生虫病や破傷風から守っています。また、この活動は、こどもたちやご両親に「健康の大切さ」を伝える教育ツールとしても大きな役割を果たしています。



そのほかにも各店のベビー休憩室に寄付金付きの飲料自動販売機を設置しているほか、「ホワイトリボンバッジ」を製作・販売。ザンビアの妊婦が出産直前に事前宿泊できる施設をつくっている「マタニティハウスプロジェクト」に寄付しています。

※この活動は、(株)商船三井さま、セイノースーパーエクスプレス(株)さまからご協力いただいています。

## 盲導犬育成支援活動

CLOSE-UP

2003年3月から  
2017年8月までに

5億3,900万円の

募金を寄付しました

盲導犬への理解を深め、育成を支援する活動をお客さまのご協力のもと展開しています。

西武・そごうの全店舗に盲導犬形の募金箱を設置し、お客さまのご協力のもと盲導犬の育成を支援しています。また定期的に「国際盲導犬の日(4月最終水曜日)」や「ほじょ犬の日(5月22日)」などに、募金活動や広報活動も実施しています。

さらに、社内でも「そごう・西武基金」を設立し、従業員が任意で毎月の給与から自動引落で積み立てている「ワン! コイン倶楽部」の募金も組み入れ、全国の盲導犬育成団体に寄付しています。加えて、視覚に障がいのある方や盲導犬ユーザーの方に安心して買い物を楽しんでいただけるよう、従業員を対象とした「盲導犬受入れセミナー」も開催しています。



全店で年2回春と秋に開催している「盲導犬ふれあいキャンペーン」や、授業の一環として小・中学校に出向いて行う「盲導犬学校キャラバン」では、盲導犬・PR犬との体験歩行や手引き体験などを通じて、視覚に障がいのある方と盲導犬へのご理解を深めていただいています。



## 商事部

### ◆ご要望に合わせてソリューションを提供

商事部は、法人・団体さまのご要望や課題に対して、幅広い商材や小売で培ったノウハウとネットワークを駆使して、より適切なソリューションをご提供しています。

セールス  
プロモーション

ユニフォーム

ギフト・  
記念品

防災用品

寄付・資材

### ◆災害に備える「防災ソリューション」

防災士によるコンサルティングセールスはもとより、防災食の期限管理システムのご提供や、期限切れ防災食の処分。また備蓄品の棚卸サービスや場所管理、避難訓練のアドバイスに至るまで、防災用品導入後の維持管理についても、継続的なサービスをご提供しています。



「オフィス防災EXPO」に出展

### ◆環境に配慮した「ユニフォームシステム」

リユース企業や素材メーカー、環境団体とのネットワークを活用したリサイクルシステムなど、環境に配慮したユニフォームの導入を検討されているお客さまの、さまざまなニーズにお応えします。



八十二銀行様へ導入

商事部のお問い合わせ先

電話番号 03-6272-7531 FAX 03-6272-7539 URL <http://www.sogo-seibu.co.jp/gaisho/>

西武・そごうは

これからも人と人、人と地球を  
笑顔でつないでまいります。



## 会社概要

代表取締役社長 林 拓二  
従業員数 8,586人(2017年2月末)  
売上高 7,479億円(2017年2月期)  
店舗数 17店舗(2017年10月1日現在)

【西武店舗】  
池袋本店 渋谷店 船橋店 所沢店 東戸塚店  
高槻店\* 大津店 福井店 岡崎店 秋田店  
小田原店  
【そごう店舗】  
横浜店 千葉店 神戸店\* 広島店 大宮店  
川口店 西神店 徳島店

\*西武高槻店、そごう神戸店は株式会社エイチ・ツー・オー  
アセットマネジメントが運営しています。